

2年間活動報告

高知県立山田高等学校
2年 松浦岳飛

1年目

活動内容

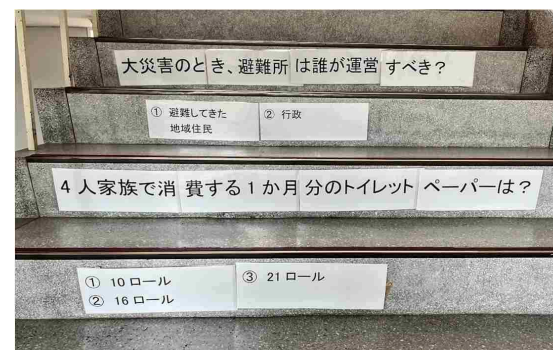
1. 防災クイズの実施
2. 防災ワークショップの実施
3. 高知県高校生津波サミット参加
4. 山田高校一年生を対象に防災学習の実施

目的

防災知識・意識を
持った山田高校生
になる

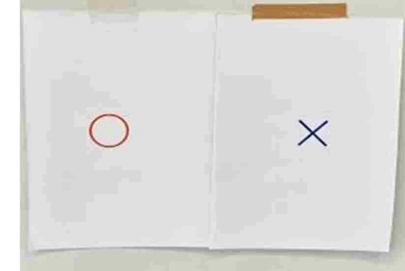
防災クイズ

目的：生徒の知識向上



防災クイズ

避難所は周辺地域の住民や日頃から自主防災活動をしている人のための場所なので県外の人や外国の方よりも地域住民を優先して受け入れるべき。



考察

防災クイズの事前事後アンケートの結果

クイズの正答率が上昇↑↑



防災クイズで知識を増やすことができる

防災ワークショップの実施



食べて! つくって! ゲームして!

防災ワークショップ

日時: 12月8日(金)

放課後16時~(45分間)

場所: 1年3H

内容: 備蓄米試食

HUG(避難所運営ゲーム)

防災グッズ作り体験

参加希望者は1年3H担任松浦まで

1年3H防災班

結果

ワークショップで新しい学びがあった

・・・4人／5人

活動を通して自分の防災意識が上がった

・・・3人／5人

結果

このようなワークショップに参加することで高校生の防災意識が上がると思う

「とてもそう思う」・・・2人

「そう思う」・・・3人

考察

防災ワークショップで

試食やものづくりなどの体験を行った



自分ごととして捉える事ができた

▶防災への意識が向上

高知県高校生津波サミット

雁部那由多さんの講演

「使命感から自らの命を落とすことがあ
ってはならない」



まずは自分の命を守ることを優先するべき

1年生対象の防災学習

【内容】

防災〇×クイズ

声出し大会

スライド発表

→自分の命を守ることの大切さを伝える





1 年生対象の防災学習

【結果】～事後アンケートより～

- ・ より知識を深めることができた
- ・ 閉じ込められた時、大きい声を出すことの難しさと大切さを知ることができた
- ・ 防災への意識を高めることができた

1 年目の実践を通して

「防災知識・意識を持った
山田高校生になる」



防災クイズやワークショップを行うこと
が有効

東日本大震災メモリアルday2023

- ・ 2024年1月19・20日
- ・ 宮城県多賀城高等学校
→災害科学科を設置
- ・ グループワーク
- ・ ポスター発表



2年目

活動内容

「高知市の災害廃棄物仮置場を設置する場所に適している場所はどこか？」について探究

情報収集

一次仮置場に集められる→二次仮置場→処理

高知市に災害廃棄物仮置場がない

仮置場の条件

- ・ 二次被害が起きにくい場所
 - ・ 避難所から近くない
 - ・ 公有地
 - ・ 面積が狭すぎない（運動公園や遊休地等）
-

調査方法

運動場や公園などで比較的広い場所を探す。
ハザードマップで二次被害（洪水、土砂災害等）の被害想定を確認する。
避難所からの距離を確認する。

仮置場候補の検討・現地調査

東部総合運動場

最大震度：7

洪水、土砂災害被害可能性：低い

津波浸水なし

大きな駐車場有 運動場複数ある 市の施設



問題点

- ・施設内に避難所がある
→健康被害防止策
- ・一箇所では足りない
→複数検討する必要がある

被災地訪問

- ・ 兵庫県舞子高校と交流
- ・ 神戸市内フィールドワーク



まとめ

- ・ 若い人の防災意識、知識はまだ不十分
→防災学習などを継続して行っていく
- ・ 自分の学びを自分の言葉で周囲に伝える
- ・ 被災地訪問の意味

ご清聴ありがとうございました